

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 }	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	8	北勢沿岸流域下水道(南部処理区)	四日市市・鈴鹿市・亀山市		(概要) 全体計画 計画区域面積: 7,310.3 ha 計画処理人口: 229,300人 計画汚水量: 135,000m3/日最大 流域幹線延長: 39.4km 終末処理場: 1箇所 (目的) 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。	S62	120,000	46.2%	【流域幹線管渠整備】 H17年度末: 38.7km H18年度以降: 0.7km 【処理場整備】 H17年度末: 処理能力 41,200m3/日最大 H18年度以降: 処理能力 93,800m3/日最大	【全体計画】 近年の社会経済状況等や周辺環境の変化にあわせ、平成17年度に全体計画諸元の見直しを行っている。	【費用対効果分析】 B / C = 1.41 【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体的事例) ・処理場設計計画の見直し(処理場施設規模・処理場敷地面積の縮小、残土処分量の抑制、処理施設の統合など) ・長距離推進工法の採用による立坑の削減 ・再生材の活用 【代替案】 本処理区の下水道計画区域については、「三重県生活排水処理アクションプログラム」において、下水道以外の生活排水処理手法である農業集落排水等の集合処理手法や合併浄化槽等の個別処理手法に対して、経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、人口の集中状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行っている。	関連市の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行うとともに、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行うこととしている。	全体事業費などの大幅な変更について詳細な説明がなかったため、妥当性を判断できなかった。従って、これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
						H58	2,500	100.0%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 { 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	9	中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)	津市		【概要】 計画区域面積 :3,163.7ha 計画処理人口 :99,900人 計画汚水量 :79,600m3/日最大 流域幹線延長 :28.6km 終末処理場 :1箇所 【目的】 伊勢湾をはじめとする公共用水域の水質保全と汚水排除による生活環境の改善に資するものである。	H9	65,000	20.9%	【流域幹線管渠整備】 H17年度末 :約12km H18年度以降 :約16.6km 【処理場整備】 H17年度末 :未供用 H18年度以降 :処理能力 79,600m3/日最大	【全体計画の見直し】 近年の社会経済状況等や周辺環境の変化にあわせ、平成15年度に全体計画諸元の見直しを行っている。	【費用対効果分析】 B/C=1.33 【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体的事例) ・長距離推進工法の採用による立坑の削減。 ・再生材の活用(砕石、アスファルト合材) 【代替案の検討】 本処理区の下水道計画区域については、「三重県生活排水処理アクションプログラム」において、下水道以外の生活排水処理手法である農業集落排水等の集合処理手法や合併浄化槽等の個別処理手法に対して、経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、人口の集中状況、社会情勢等を考慮したうえで選定を行っている。	供用開始に向けた幹線管渠及び浄化センターの整備を図るとともに、供用開始後は、関連市の面整備に併せた幹線管渠の延伸と浄化センターの流入水量の伸びに基づいた段階的増設を図る。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							63,700	19.3%					
						H50	1,300	98.4%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	101	中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)流域関連公共下水道	津市		<p>【概要】 計画区域面積 :3,163.7ha 計画処理人口 :99,900人 計画汚水量 :79,600m³/日最大</p> <p>【目的】 三重県の流域下水道整備と整合を図り、公共用水域の水質保全と生活環境の改善に資するものである。</p>	H9	93,000	6.5%	<p>【整備面積】 H17年度末 :約297ha H18年度以降 :約2,867ha</p>	<p>【全体計画の見直し】 上位計画である、「中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)」との整合を図り、平成15年度に見直しを行っている。</p>	<p>【費用対効果分析結果】 B/C=1.33 【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体的事例) ・管渠の計画(埋設深、最小管径) ・公共ますの設置基準(形状) ・再生材の活用(砕石、アスファルト合材) 【代替案の検討】 本処理区の下水道計画区域については、「三重県生活排水処理アクションプログラム」において、下水道以外の生活排水処理手法である農業集落排水等の集合処理手法や合併浄化槽等の個別処理手法に対して、経済比較や地域の地形条件、集落の形</p>	<p>今後も鋭意事業の進捗を図り、平成55年度に整備完了予定である。</p>	<p>全体事業費などの大幅な変更について詳細な説明がなかったため、妥当性を判断できなかった。従って、これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。</p>
						H55	4,000	2.6%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	102	北勢沿岸流域下水道(南部処理区)流域関連公共下水道四日市(汚水)	四日市市		(概要) 計画区域面積 : 725.3 ha 計画処理人口 : 22,400人 計画汚水量 : 13,157m ³ /日 最大 (目的) 三重県の流域下水道整備と 整合を図り、公共用水域の水 質保全と生活環境の改善に 資するものである。	H1	19,000	56.6%	【整備面積】 平成17年度末: 263.6ha 平成18年度以降: 461.7ha 【全体計画】 上位計画である「北勢 沿岸流域下水道(南部 処理区)」との整合を図 り、平成17年度に四日 市市生活排水処理アク ションプログラムの策 定見直しを行ってい る。	【費用対効果分析】 B / C = 1.46 【コスト削減】 「三重県公共工事コスト削減 に関する第3次行動計画」に 基づき、更なるコスト削減に 努めたい。 (具体的事例) ・管渠の最小管径の見直し ・マンホール間距離を見直し ・マンホール数を減らした ・再生材の活用 ・最小土被りの見直し ・管基礎の見直し 【代替案】 本処理区の下水道計画区 域については、「三重県生活 排水処理アクションプログラ ム」において、下水道以外の 生活排水処理手法である農 業集落排水等の集合処理手 法や合併浄化槽等の個別処 理手法に対して、経済比較や	単独公共下水道区 域、流域関連(北部 処理区)と共に、アク ションプログラムを基 準として、事業効率 に配慮しながら鋭意 事業の進捗を図り、 市街化区域について は平成39年度に、 その他の計画区域 については平成58 年度に整備完了予 定である。	事業継続の妥当性が認められ たことから事業継続を了承す る。	
						H58	1,300	61.7%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	103	北勢沿岸流域下水道(南部処理区)流域関連公共下水道鈴鹿市	鈴鹿市		(概要) 計画区域面積 : 4,700.0ha 計画処理人口 : 167,400人 計画汚水量 : 97,264m ³ /日 最大 (目的) 三重県の流域下水道整備と 整合を図り、公共用水域の水 質保全と生活環境の改善に 資するものである。	S63	152,000	40.7%	【整備面積】 平成17年度末: 1,383.0ha 平成18年度以降: 3,317ha	【全体計画】 上位計画である「北勢沿岸流域下水道(南部処理区)」との整合を図り、平成17年度に見直しを行っている。	【費用対効果分析】 B / C = 1.35 【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体的事例) ・管渠の最小管径の見直し (200mm 150mm) ・マンホ - ル管距離の見直し ・再生材の活用 【代替案】 本処理区の下水道計画区域については、「三重県生活排水処理アクションプログラム」において、下水道以外の生活排水処理手法である農業集落排水等の集合処理手法や合併浄化槽等の個別処理手法に対して、経済比較や地域の地形条件、集落の形成状況、	流域下水道事業の進捗に合わせ、費用対効果の高い区域を中心に事業を鋭意推進し、平成50年度に整備完了予定である。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
						H50	12,100	49.2%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 { 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	105	津都市計画下水道事業 栗真町屋都市下水道	津市		[概要] 集水面積 :144ha 計画降雨強度 :57mm/hr 管路延長 :1,678m ポンプ場 :既設 132m3/分 :新設 365m3/分 用地 :ポンプ場 5,410㎡ :管路布設 3,530㎡ [目的] 浸水被害(家屋等被害、国道23号の交通途絶被害並びに救急病院への進入不可被害等)の解消	H9	4,368	47.5%	H17年度末 管路延長 :514m ポンプ場 :既設 132m3/分 :新設 130m3/分 用地 :ポンプ場 5,410㎡ :管路布設 2,460㎡ H18年度以降 管路延長 :1,164m ポンプ場 :新設 235m3/分 用地 :管路布設 1,070㎡	[全体計画の見直し] 計画策定以降、大幅な見直しは行っていない。 [周辺環境の変化] 事業に影響を及ぼすような変化や事業に伴う変化は生じていない。	[費用対効果分析] B / C = 1.17 [コスト縮減] 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に従いコスト縮減施策を取り入れ、事業費の削減を図っている。 (具体的事例) ポンプ場及び管路築造工事における流用土による埋め戻し並びに長距離推進工事の採用 [代替案の検討] 地形的にポンプ排水が必要であり、市街化区域内にポンプ場の適地がないことから、現計画内容が妥当であると判断している。	平成9年度に事業着手し、現時点での進捗率は47.5%となっています。 平成22年度には事業を完了する予定です。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							4,157	45.6%					
						H22	211	84.4%					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 { 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
下水道事業	111	中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)流域関連公共下水道	津市		[概要] サイエンス排水区 集水面積 :169ha 計画降雨強度 :57mm/hr 管路延長 :10,616m 調整池容量 :392,700m3(3箇所)	H9	1,430	71.0%	H17年度末 管路延長 :9,445m 調整池 :352,600m3(2箇所) H18年度以降 管路延長 :1,171m 調整池 :40,100m3(1箇所)	[全体計画の変更] 平成9年度に事業計画策定以降、見直しは行っていない。 [周辺環境の変化] 事業に影響を及ぼすような変化や、事業に伴う変化は生じていない。	費用便益比 B/C = 1.39 [コスト縮減] 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に従いコスト縮減施策を取り入れ、事業費の削減を図っている。 (具体的事例) ・管渠の計画(管材料等) ・造成工事や道路工事と調整した雨水管布設に伴う仮設工や舗装復旧工の費用軽減 [代替案の検討] 事業着手後、鋭意事業を進めており、現状での代替案がないことから、現計画内容が妥当であると判断している。	平成9年度に事業採択された後、現時点での進捗率は、90%となっています。 平成19年度には事業が完了する。	費用と便益の算出根拠について妥当と判断できる説明が不足していた。従って、これを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
							1,430	71.0%					
						H19	-	-					

平成18年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 { 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	112	北勢沿岸流域下水道(南部処理区)流域関連公共下水道 四日市市(雨水)	四日市市		磯津第一排水区、磯津第二排水区、河原田排水区 排水区域面積:462.3ha 計画降雨強度:75.1mm/h 幹線水路延長:7,580m ポンプ場:5箇所 (ポンプ能力:4,125m3/分)	H1	49,208	20.8%	【幹線水路整備】 平成17年度末:1,680m 平成18年度以降:5,900m 【ポンプ場】 平成17年度末:3箇所 (能力:840m3/分) 平成18年度以降:2箇所 (能力:3,285m3/分)	本事業区域は、降雨に伴う浸水被害を幾度となく経験しており、現在では総合的な治水対策を進めている。	【費用対効果分析】 B/C = 1.54 【コスト縮減】 「三重県公共工事コスト縮減に関する第3次行動計画」に基づき、更なるコスト縮減に努めたい。 (具体事例) ・ポンプ場の経済的で円滑な排水運転を目指した小降雨対応ポンプの整備や台数分割による効率的整備を実施している。 ・幹線水路整備の進捗に合わせた段階的整備を行う。 ・ポンプ場の集中管理、外部委託化を実施している。 ・現場条件の制限を受ける中で、より経済的で効果の早期発現が可能な幹線ルートを選定する。 【代替案】 代替の適用が困難なことから現状の	他の排水区についても住民ニーズが高いため、ポンプ場及び幹線管渠の整備に着手し、速やかに整備完了を目指すものとする。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承することから、本事業は長期にわたるため、定期的に事業効果の検証を行い、必要ならば今後の事業に反映するよう希望するものである。
							49,208	20.8%					
						H37	-	-					